

【機械知能システム学科 一年生工場見学】

機械知能システム学科では、酒田共同火力発電株式会社殿の協力を得て、学部一年生の工場見学を平成23年7月8日に実施しました。酒田共同火力発電株式会社は、最上川河口付近に位置し、石炭を燃料とした火力発電による電気の卸供給事業を行っており、山形県内で消費する電力量の約50%を供給しています。

当日は、発電所の設備および発電原理等を説明頂いた後、二班に分かれて所内の見学させて頂きました。その後の質疑応答では、学生からの質問に丁寧な回答を頂きました。その他、今夏懸念された昼間の消費電力推移やピーク電力と供給可能電力の関係についても分かりやすく解説して頂きました。

発電所は多くの設備を有する一大プラントであり、さまざまな工学的要素が含まれています。短い時間ではありましたが、学生には本見学を通じて機械工学と社会の関わりについて認識する機会となったことを期待しています。

■参加者

85名（学生83名，教員2名）

■訪問企業

酒田共同火力発電株式会社（山形県酒田市）



施設概要の説明



発電所内見学の様子